

1 第2回審議会の振り返りについて

1-1 第2回審議会の振り返りについて

1 第2回審議会の振り返りについて

1-1 第2回審議会の振り返りについて

Q1.目標削減率の試算に維持管理経費削減の観点を入れるか。

A1.維持管理経費を削減した分すべてを投資的経費に計上できないので、削減目標は現行通り更新・大規模改修の試算のみで立てる。

それとは別に維持管理経費の削減目標を設定する。

Q2.学校は義務教育施設のため一定数の確保が必要ではないか。

A2.単に年少人口の減少率ではなく、文科省が定める必要最低面積で更新を行うとして何%削減できるかも含めて検討する。

Q3.削減にあたり、法令上必要な施設とそうでない施設に分けて考えるのはどうか。

A3.法令上の判断だけではなく、市として必要な施設、減らす施設、廃止する施設を考慮し、人口動向からのアプローチを検討する。

人口動向からのアプローチについては、市の政策判断が必要なため、今後の審議会で市の考え方を説明する。

Q4.学校施設のあり方検討会とのすりあわせ。

A4.答申案を資料4-2で提供をするので、後ほど議論する。

Q5.延床面積削減の実効性を担保するため、具体的な方針・目標を計画内に明記するか。

A5.次回改定予定が令和13年度なので、それまでの期間目標を設定、次回改定の際の評価指標とする。

Q6.延床面積削減以外の選択肢（利用料を増やす等）があることを計画内に明記するか。

A6.基本方針の中で様々な取組手法について明記を検討するが、市の他の個別計画との関連を含めて表記の仕方を検討する。